

新作発見!

# 画 生 弥

- 人・動物・風景 -

2017年

4/22(土) ▶ 6/18(日)



人・鹿・犬などを描いた土器【大垣市指定文化財】／東町田墳墓群  
(大垣市教育委員会写真提供)



スケッチ会や  
クイズを毎日開催!

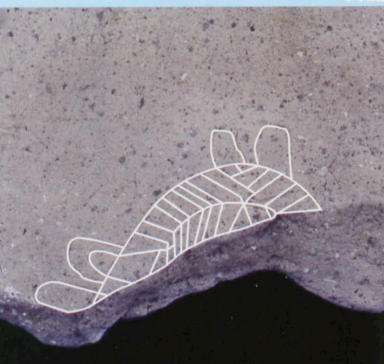
詳しくはこちら▶



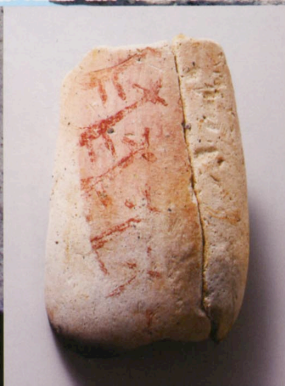
展示品はほとんど  
写真撮影できるよ!  
お気に入りの  
見つけてね。



人を描いた土器／唐古・鍵遺跡 (天理大学附属天理参考館写真提供)



鹿を描いた土器／東奈良遺跡  
(茨木市教育委員会写真提供)



鹿を描いた土器／一色青海遺跡  
(公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター写真提供)



サメを描いた銅剣／出土地不明 (鳥取県立博物館所蔵)  
(奈良文化財研究所撮影)



船を描いた土器／荒尾南遺跡  
(岐阜県文化財保護センター写真提供)

※白線は絵をわかりやすくするための表現です。

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

●〒634-0065 奈良県橿原市政傍町 50-2 ●TEL(0744)24-1185 ●FAX(0744)24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>  
背景の鹿は清水風遺跡の水差形土器、サメは青谷上寺地遺跡の竈に描かれた絵画を図化した。

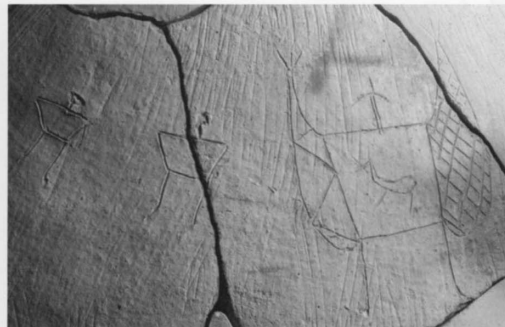
# 新作発見! 弥生絵画

- 人・動物・風景 -

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 / 後援 朝日新聞社・NHK 奈良放送局

土器・石器・青銅器・木製品。これらはどれも弥生人がカンヴァスに使用したものです。今から約2,000年前、人や動物、建物や船などを描いた風景が題材として選ばれました。島根県から鳥取県、兵庫県の日本海沿岸部ではサメの絵が特に多く描かれました。

本展では、弥生人の描き残した作品から描き手の個性や表現の違い、作品の共通性などを紹介し、弥生人が描き、残したメッセージを読み解きます。



鳥装の巫女を描いた土器/清水風遺跡



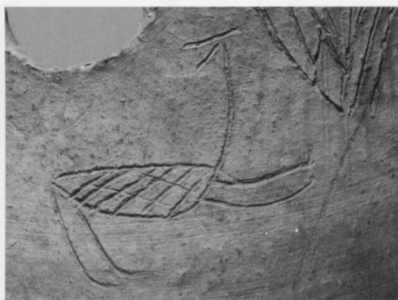
顔を描いた銅鐸【原品国宝・展示はレプリカ】  
加茂岩倉 29号銅鐸  
(文化庁所蔵・島根県立古代出雲歴史博物館写真提供)



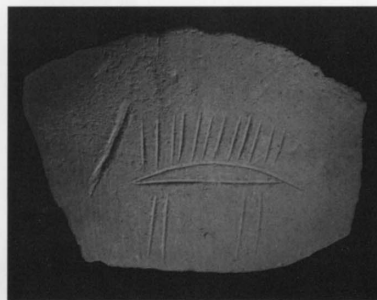
鹿を描いた土製垂飾/一色青海遺跡  
(公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター写真提供)



鹿を描いた筒形土器【重要文化財】  
朝日遺跡  
(公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター写真提供)



鹿を描いた土器/四分遺跡  
(奈良文化財研究所写真提供)



猪(?)を描いた土器/東奈良遺跡  
(茨木市教育委員会写真提供)

## 【観覧料金】

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	800円	450円	300円
20名以上の団体	500円	350円	250円

無料となる場合

- ・小学生未満
- ・外国人観光客
- ・奈良県内の小・中・高・特別支援学校生が、通学校の教員の引率で入館する場合の生徒および教員
- ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者および付き添い1名

## 【開館時間】

9時～17時(入館は16時30分まで)

## 【休館日】

毎週月曜日

## ■ 研究講座 (事前申込不要・聴講無料)

会場 奈良県立橿原考古学研究所 講堂  
時間 13時～16時15分(12時開場)

### 第1回 4月30日(日)「弥生絵画の世界」

北井利幸(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館主任学芸員)

「新作発見! 弥生絵画一人・動物・風景」

岡崎晋明(龍谷大学名誉教授)

「戈・盾をもった人物を読み解く」

### 第2回 5月21日(日)「弥生絵画を読み解く」

藤田三郎(田原本町教育委員会事務局文化財保存課長)

「土器になぜ絵画を描いたのか」

～唐古・鍵遺跡の絵画土器からわかること～

武末純一(福岡大学人文学部歴史学科教授)

「飛翔する鳥-福岡県筑前町大木遺跡 92号甕棺」

### 第3回 6月11日(日)「弥生絵画が示すこと」

橋本裕行(奈良県立橿原考古学研究所企画課長)

「東アジア社会における弥生絵画の位置づけ」

深澤芳樹(天理大学客員教授)

「描かれた動物-シカ・ヒツジ・サカナ」

## ■ 展示解説 (事前申込不要・入館料必要)

会場 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 特別展示室

### A. 研究講座に関係した展示品を解説

4月30日(日)、5月21日(日)、6月11日(日)  
10時30分～11時

### B. 小・中学生を対象に展示品を解説

5月5日(金・祝) 10時30分～11時30分

### C. 連続展示解説

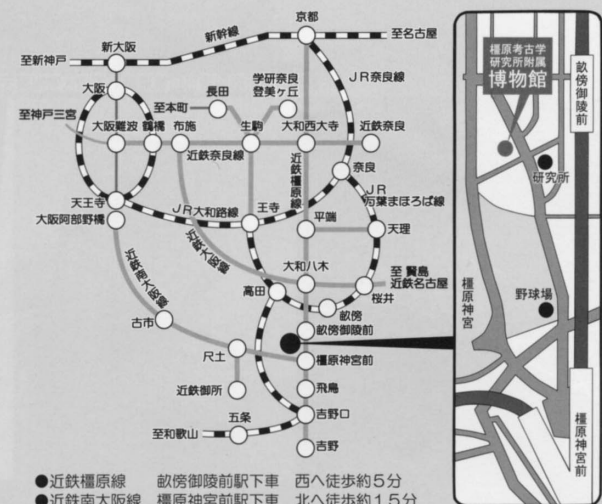
展示会を6回に分けて解説します。

各回、10時30分～11時30分

第1回 4月29日(土・祝) 第2回 5月13日(土)

第3回 5月20日(土) 第4回 6月3日(土)

第5回 6月10日(土) 第6回 6月17日(土)



次回の展示 ▶ 「大和を掘る 35 - 2016年度発掘調査速報展 -」

2017年7月15日～9月3日